

●山形市少年自然の家の新しいあり方に係るサウンディング型市場調査 質問・回答

No.	質問	回答
1	説明・見学会資料の8ページに記載の延べ利用者数の推移があり、小学校の利用の次に「その他」の利用者が多くなっているが、どのような利用がされているのか。	未就学児（幼稚園、保育園）のプラネタリウム鑑賞や雪遊び、公民館事業の炊飯活動やプラネタリウム鑑賞、放課後児童クラブの自然体験や宿泊活動、一般市民の自然観察やアスレチックでの遊び、雪遊び、適応教室「風」（市内不登校児童生徒対象の適応指導教室）による体験活動などによる利用があります。
2	月別利用者数のデータは提供可能か。	参考として、月別利用者数のデータを別紙1のとおり提供します。 ※令和元年度（コロナ禍前）と令和4年度（直近）分
3	学校利用は、市内の学校限定か。	市内の学校の利用が多いですが、天童市、上市市、南陽市、山辺町、中山町、白鷹町の学校でも利用しています。
4	施設の一般利用はあるのか。	アスレチックやそり、チューブ、スキーなど、無料で利用可能となっています。
5	学校利用の場合、宿泊棟での宿泊とキャンプ場での宿泊の割合はどのくらいか。	令和4年度はコロナ対応によるキャンプ場の利用制限のため、宿泊棟での宿泊のみとなっています。今年度は1泊2日の利用で、宿泊棟が36校、キャンプ場が11校となっています。令和元年度までは、学校利用の場合は2泊3日での利用が多く、1泊は宿泊棟、もう1泊はキャンプ場のように分けて宿泊している学校もあった状況です。
6	事業化による既存施設を改築する場合、改築費用については山形市からの負担も検討してもらえるのか。	既存施設を改築する必要があるかどうかも含め、サウンディング型市場調査等の結果を踏まえ、これから検討を進めてまいります。 提案に当たり、持続可能な形で施設の運営を行うために山形市の費用負担が必要ということであれば、その負担割合等も含め、ご提案ください。
7	現事業を継続するのか。継続する場合、山形市が運営を行うのか、それとも民間企業が運営を行うのか。	現事業全般を継続するかどうかも含め、サウンディング型市場調査等の結果を踏まえ、これから検討を進めてまいります。 したがって、どのような事業を展開していくかや、どこが主体となり運営を行っていくかについては全くの白紙であるため、サウンディング型市場調査実施要領に記載のコンセプト等を可能な限り配慮した形で、自由な提案をこの調査では求めています。
8	スキー場の利用もなされているとのことだが、スキー場の管理・運営も民間でしていくことになるのか。	スキー場として活用するかは事業者の判断となり、活用する場合の運営手法についても提案いただければと思います。
9	現在の食堂の業務委託については山形市から利用料金以外の補助金等の制度はあるか。仮に本事業を事業者が引き継いだ場合、山形市から補助金等は見込めるのか。	現在の食堂の業務委託では、固定経費の管理費と提供した食事数に応じた食材費を事業者に支払っています。食事代金は利用者より山形市に支払われており、利用にあたっての補助金等の制度はございません。 なお、新しい食堂機能のあり方についても、サウンディング型市場調査の調査対象となっております。
10	食堂には管理栄養士は常駐しているのか。	食堂の運営は民間事業者に委託しており、管理栄養士が常駐しています。
11	市有地以外の部分における売却や賃借に当たっては別途地権者との協議が必要とのことだが、事業者と一緒に山形市も協議に参加してもらえるのか。	地権者との協議が必要となる場合には、山形市も協議の場に参加します。
12	現在の市有地以外の借地料はどのくらいの金額か。	市有地以外（荒沼キャンプ場・板橋沼キャンプ場）の借地料は、年間約115万円です。 その他、飲用水利権や荒沼湖面利用権もあり、そちらについては年間約30万円です。 ただし、これら借地料等については、事業者や用途の変更等、新しい利活用となることによって、改めて地権者等との協議が必要となる場合があります。
13	少年自然の家へ向かう道路について、冬季の除雪体制はどのようになっているのか。	山形市の市街地から少年自然の家に向かう道路（市立南沼原小学校前の交差点から西進）は、県道となっているため、県が基準に基づき除雪を実施しています。また、県道の途中から少年自然の家に向かうために左折した後の道路は、市道となっているため、市が基準（10cm以上の降雪）に基づいて除雪を行います。 なお、敷地内の除雪は、自然の家までの市道除雪業者と契約し、進入路から本館前、野外活動施設の大駐車場を除雪しています。
14	宿泊施設の設備に温浴施設やシャワー施設等、給湯に関する設備はあるか。	本館施設には浴室が3か所（男子浴室1、女子浴室1、宿直室浴室1）あり、自然水利を塩素、濾過、加温（A重油）処理しています。 板橋沼キャンプ場の管理棟にはシャワー室が6室あり、自然水利を塩素、濾過、加温（プロパンガス）処理しています。
15	外部有識者会のメンバーの構成員を教えてください。	市内の大学の教授のほか、学校教育・子ども会・地区の関係者、またアウトドアに精通する民間企業等のメンバーが構成員となっています。

## 月別施設利用状況【R1 (コロナ禍前) と R4 (直近) の比較】

令和 元年度	本館				荒沼キャンプ場		板橋キャンプ場		野外活動センター		合計	
	実団体数	延人数	(内ﾌﾞﾚｯｸﾙｰﾑも利用)		実団体数	延人数	実団体数	延人数	実団体数	延人数	実団体数	延人数
実団体数			延人数									
4月	2	302	0	0	0	0	0	0	0	282	2	584
5月	13	3,023	1	60	2	427	7	1,467	4	1,576	26	6,493
6月	29	3,905	10	1,678	17	1,619	11	1,527	9	1,333	66	8,384
7月	35	2,947	21	1,634	8	862	11	1,651	8	779	62	6,239
8月	10	981	3	215	1	268	4	398	1	615	16	2,262
9月	8	1,438	4	711	1	156	5	1,644	17	2,300	31	5,538
10月	6	449	2	159	0	0	0	0	9	1,273	15	1,722
11月	3	118	1	40	0	0	0	0	0	294	3	412
12月	1	60	0	0	0	0	0	0	0	260	1	320
1月	10	775	2	104	0	0	0	0	29	3,419	39	4,194
2月	12	560	2	110	0	0	0	0	33	3,752	45	4,312
3月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	330	0	330
計	129	14,558	46	4,711	29	3,332	38	6,687	110	16,213	306	40,790

令和 4年度	本館				荒沼キャンプ場		板橋キャンプ場		野外活動センター		合計	
	実団体数	延人数	(内ﾌﾞﾚｯｸﾙｰﾑ)		実団体数	延人数	実団体数	延人数	実団体数	延人数	実団体数	延人数
実団体数			延人数									
4月	1	16	0	0	0	0	0	0	1	355	2	371
5月	9	770	4	305	0	0	2	44	2	498	13	1,312
6月	36	3,419	11	1,854	0	0	16	998	7	679	59	5,096
7月	31	2,334	16	953	0	0	4	404	10	1,162	45	3,900
8月	8	378	4	177	0	0	2	65	3	534	13	977
9月	14	1,124	4	428	1	3	3	290	15	2,092	33	3,509
10月	12	763	6	213	1	34	1	22	14	1,507	28	2,326
11月	2	264	2	264	0	0	0	0	3	474	5	738
12月	1	20	1	30	0	0	0	0	1	223	2	243
1月	9	422	1	45	0	0	0	0	37	6,064	46	6,486
2月	10	444	0	0	0	0	0	0	39	5,006	49	5,450
3月	2	55	1	17	0	0	0	0	1	340	3	395
計	135	10,009	50	4,286	2	37	28	1,823	133	18,934	298	30,803